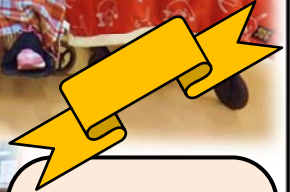
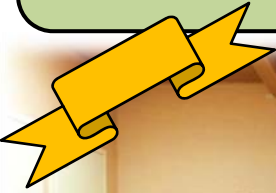




こんにちは！三番街です！

ラポール宝生苑では、様々な専門職が連携を図りながら日々ご利用者様の支援をさせて頂いております。当苑では、ユニットケアを取り入れ、31名のご利用者様が、3つのユニットに分かれて生活をされています。今回は前号の二番街に続きまして、三番街の様子と日常支援に関わる生活支援員の取り組みについてご紹介致します。



ご利用者様からのリクエストで、生け花教室を開催しました。花柳園様のご指導のもと、楽しい時間を過ごせました。



おしゃべりを楽しみながら、おしぼり巻きを手伝って頂いております。いつも明るく和やかなリビング風景です。



三番街の紹介

三番街は、施設入所支援のサービス提供を行っているユニットです。12名のご利用者様が個室にて、入所生活を送っております。

三番街では、毎月ユニット懇談会を開催し、ご利用者様から頂いたご意見を反映できるようなサービス提供に努めています。ご利用者様の楽しみである個別支援を3ヶ月毎に計画し、ご希望を伺いながら買い物外出や周辺散歩などを実施しています。リビングは、ご利用者様同士の会話で笑顔があふれ、和気あいあいとした明るい雰囲気の特徴です。懇談会にて、三番街ご利用者様から「生け花をしてみたい。」とのご意見を頂きました。さっそく、花柳園様やこいしボランティアの皆様にご協力を頂きながら、生け花教室を開催して個性豊かに花をいけ、宝まつりに展示する事も出来ました。今後も四季を感じられる施設行事や余暇活動等を計画し、安らぎのある生活空間をご利用者様に提供出来ればと思います。

現在三番街では、男性2名、女性4名の生活支援員体制で、お一人お一人のライフスタイルを尊重した支援を行っています。

これからもご利用者様が楽しみを持ちながら、日々笑顔で過ごして頂ける生活支援に努めてまいります。



三番街生活支援リーダー 益成 翔太